

# 令和5年度 第5回 拡大理事会議事録

日時：令和5年10月24日（火）19:00～20:40

場所：Web会議

出席：(理事)磯野、三科、北山、小林(司)、有泉、井村、渡邊、鮎川、菊池、古屋、鈴木、大西、平賀、古屋、丸茂、萱沼  
(部長)小林(泰)、秋山

書記：五味

## 会員管理情報

慶事0件 弔事1件 施設数160施設

会員数982名（施設927名 自宅55名）

## 磯野会長より挨拶

前回の理事会以降のことについて報告させていただきます。9月28(木)に専門職団体協議会、翌29(金)に笛吹市の在宅医療介護連携推進会議、30日(土)にはST士会主催の失語症友の会に参加をしました。全国的に大々的に開催され、堀内氏や永井氏などが来所されました。

10月からは8日(日)協会の組織運営協議会、14(土)15(日)は関ブロが開催されました。その際に関東甲信越ブロックの士会長会議がありましたので参加しました。来年は千葉県が担当になるとのことです。埼玉県は士会設立50周年の節目でした。16(月)は県主催のがんリハネットワーク会議、20(金)は関ブロスポーツ理学療法関連治療委員会、21(土)都道府県理学療法士会・作業療法士会において関連機関と連携した地域・職域での予防健康づくりを目的とした保健活動を推進するための研修事業に参加をしました。

再来年の山梨県主催の関ブロについてちょうど50周年となりますが、式典はせず記念誌については作成をしていくこととなりました。今後検討していくこととなります。

協会組織運営協議会について報告です。今後の制度改定について話しがあつたほか、組織率(協会入会者数)の低下についての危機感、市町村への担当者の配置など重点課題について言及されていました。

## 質問・意見

平賀：市町村への担当者の配置については支部局の役割だと感じましたが、各市町村で配置か地区別での配置が好ましいかがでしょうか。

磯野：都などは区ごとで設置するようです。市町村で配置するにしてもどこかに明確に示しておく必要があると感じています。

平賀：また相談させてください。

## I. 審議事項（全4題）

1. 令和5年度中間監査資料について(有泉事務局長)

11月13日(月)に実施します。参加者は会長・副会長・監事(2名)・事務局財務担当・渉外部長です。

資料について確認。

## 結果

監査までに修正を行っていく。

2. 働きやすい環境創り検討委員会より(局長)

研修会の開催について決定しましたのでご報告します。講師料について規定により5万円となりますが審議をお願いします。

日時：令和6年1月または3月 19時～21時

テーマ：理学療法士のための労働関連法について

講師：張本 浩平 株式会社 gene 代表取締役

## 質問・意見

鈴木：リハノメの宣伝をしたいとのことでしたがいかがでしょうか。

有泉：講師紹介の中で少し言及するというのであればいいと思います。

磯野：関ブロの中での研修会ということではなく県士会主催ですか。

有泉：県士会の中の組織でもあるのでその研修会として今回実施します。

磯野：理学療法士協会員に絞ることについてはどう考えているか。

有泉：担当者に確認を取っていききたいと思います。

## 結果

講師料については反対意見なし。話を進めていく。

3. 地域支援事業推進委員会より研修会について(小林(司)副会長)

2件の研修会についてご報告します。

① 令和5年度地域支援事業推進委員会フォローアップ研修

日時：令和5年11月29日(水) 19時～21時

会場：オンライン

内容：地域包括ケアシステムに携わっているPTとの意見交換会・相談会

講師：嶋津 栄伸 山梨県庁長寿推進課  
笠井 斗志夫 北杜市立塩川病院

② 令和5年度地域包括ケア・介護予防推進リーダー導入研修会

日時：令和6年2月8日(木) 19時～21時

令和6年2月16日(木) 19時～21時

令和6年2月22日(木) 19時～21時

令和6年2月29日(木) 19時～21時

会場：オンライン

内容：地域包括ケア・介護予防推進リーダー取得のための研修

講師：秋山 侑大 山梨県立あけぼの医療福祉センター

## 質問・意見

なし

## 結果

研修会について進めていく

#### 4.第3回学術研修会について(渡邊学術研修局長)

研修会についてご報告します。講師料について規定により医師10万円、県内PT3万円となりますが審議をお願いします。

##### 第3回学術研修会(糖尿病対策推進委員会共催)

日時:令和5年12月17日(日) 10時~13時

会場:オンライン

内容:ダイアベティス時代の運動療法 患者かつ専門医としての目線から

講師:安德 愛梨 元山梨大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 臨床助教  
渡邊 亮 湯村温泉病院  
笠井 斗志夫 北杜市立塩川病院

#### 質問・意見

有泉:規定については目安ですが、幅を持たせた価格となっています。

小林(司):幅を持たせたため差が出てしまう事にもなりかねない。

有泉:医師にも階級により定まっていることもあり難しい面もありますが。

渡邊:以前は対面や医師の階級も違いますがこのような価格でお渡ししています。

北山:幅を持たせた理由としては山梨にお越しいただく手間等を考慮してこのような規定とした経緯があります。今後オンラインの開催であったり研修時間など条件を決めて金額を設定してみることをしてみてもいいのではないかと思います。

平賀:講師であっても規定を見ると認定・専門など肩書があるとその価格といった内容が明記されているので条件を設定していく必要があると思います。

有泉:現時点では条件等決めていくことが難しいですが今回の件に関しては進めていくということでもよろしいですか。

磯野:近隣でどのくらいの価格設定になっているのか調査して決めていくべきかと思っています。

#### 結果

研修会について進めていく

## II. 報告事項

### 1. 各委員会等の報告

- ・糖尿病対策推進委員会より(小林(司)副会長)  
過日学術集会に参加をしましたのでご報告します。  
日時:令和5年9月16日(土) 16時~17時30分  
会場:対面またはオンライン  
内容:地域における活動紹介  
座長:北村 和也 北播磨総合医療センター  
日本糖尿病療法学糖尿病対策推進部会 副部会長
- ・災害対策支援委員会より(小林(司)副会長)  
専門職団体協議会災害対策支援委員会へ参加してきましたのでご報告します。

日時:令和5年10月17日(火) 19時~

会場:オンライン

内容:①令和5年度予算報

②令和5年度災害対策支援委員会研修会について

③令和5年度山梨県地震防災訓練について

参加:大野 了資(市川三郷病院)

萱沼 達弥(山梨赤十字病院)

②について、山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会と共催で実施します。

日時:令和6年3月2日(土)

:令和6年3月3日(日)

会場:大木記念ホール

内容:2日(土)ファシリテーター研修

3日(日)REHUG研修

講師:佐藤 亮 熊本 JRAT

・全国職能関連担当者会議の参加報告について(小林(司)副会長)

10月18日(水)の18時~20時に全国職能関連担当者会議へ参加してきました。主にPTの職域の拡大について活動をしている組織で、山梨県士会として今後どの部分に焦点を当てて取り組んでいくべきか考えらなければならないかといった課題がみつかりました。

また、現在局を跨いだ事業などが多くなっていて、今後組織再編といった流れになる中で、今回のような活動内容を加味した組織にしていければと考えています。

### 2. 各局より報告

・士会学術集会部より(菊池学術大会局長)  
進捗状況について報告します。

第26回山梨県理学療法士会学術集会(令和6年2月18日(日))の一般口述演題のエントリーが16件、抄録査読希望者5名、一般口述演題座長の希望者2名という状況です。プログラムについては16演題あるので、2つの会場で行った後は1つの大きい会場を使用して行うこととします。

今後は演題の締め切り、抄録集の作製・発送、事前登録の開始という流れになっています。

#### 質問・意見

菊池:人員についてはあと5名程希望者が集えば円滑な開催が可能になるかと思っています。

平賀:学生の参加(会場係等)については学科長より許可を得ることができました。

菊池:今回は県士会の会員のみで行って、学生についてはなるべく参加をしてほしいと考えています。

磯野:会場はどのような構造かわかりかねますが、廊下は使用可能でしょうか。

菊池:アピオを使用しますが廊下(会場の外)は少し広めかと思いますが。

磯野:会員が参集するイベントとしては大きいものであるので、ブース出展といった広報活動をするには

一番適していると思いますが。

菊池：確認したいと思います。

#### **結果**

計画通り実施していく。会場については確認していく。

- ・士会支部局より(平賀士会支部局長)

以前より計画をしていました症例検討会についてですが、10月11(水)、10月18日(水)のいずれにも発表者の応募が無かったので開催延期とさせていただきますのでご報告します。次回1月については応募のタイミング等工夫しながら行っていきたいと思います。

- ・社会局より(古屋社会局長)

基礎研修会についてのご報告です。

日時：令和5年10月21日(土) 10時～16時

会場：オンライン

内容：自治体または企業における成人の健康づくりに  
い寄与するPT・OT基礎研修

介護予防の手前にある、ゼロ次予防ということで今後関わっていきたいという話がありました。そのためには自治体のみではなく企業とも関わっていき、労働災害を減らしたり転倒や腰痛、精神疾患、睡眠等OTにも関係する項目がありました。グループワークでは山梨県士会として抱えている問題を他の県士会も感じているなど課題点について話す機会もあり有意義な研修でした。

#### **質問・意見**

小林(司)：新潟県士会などは活動に対して規定を定めて対価を払うことにしているようです。また、企業ごとに設定もされているとのことで、ある程度決められた中で取り組んでいくことも一つの手段ではないかと思います。

古屋：他士会交えての研修会で聞いてみましたが、一律いくらか決めている士会もありますが他の士会でもまちまちだった印象です。地域差も出てきてしまうのではないかと考えています。

磯野：今後どのように取り組んでいくべきか考えていく必要がありますね。

有泉：他士会と比べて少ない会員数の中で実施していかなければならない部分も今後あるかと思いますが、いかがでしょうか。

磯野：小林(司)副会長と古屋局長で検討をしてみてください。人材育成の面については継続して検討していくべき課題として捉えていきます。

#### **結果**

- ・人材育成の面については今後も継続して検討していく。
- ・規定作成するかどうか含めて検討していく

#### **Ⅲ. 事務管理局より(有泉事務局長)**

中間監査の資料について訂正・追加等ありましたら連絡をお願いします。

#### **質問・意見**

磯野：予算についてはどのようになっていますか。

丸茂：概ね予算の半分使われている局が多いです。実施

していないところは今後使用していくものとして、現状3割～4割程度の執行になっています。

#### **Ⅳ. 次回の理事会日程について**

理事会

令和5年11月28日(火) 19:00～

場所 Web会議

連絡 11月24日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。  
議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。